

# 想いやニーズの実現をサポート

# くらしの活動

J A いわて花巻は、安心して暮らせる豊かな地域づくりの実現に向けて「くらしの活動」を展開し、組合員・地域住民の自主的な取り組みをサポートしています。特集2では、くらしの活動について紹介するほか、12月1日に開いた「くらしの活動大会」の様子をお伝えします。

## 「くらしの活動」とは

組合員・地域住民の皆さんの生活の中には、より良い人生を歩んでいくためのさまざまな想いや願い、多様なニーズがあります。そのような事柄を叶え、安心して暮らせる豊かな地域づくりの実現に向けて、仲間とともに創り上げる自主的な活動が「くらしの活動」です。J A では、皆様が自主的に取り組むくらしの活動をJ A の総合事業を活かしてさまざまな面から積極的にサポートしています。

## 重要な取り組み

J A は、第3次中期経営計画で3つの基本目標を掲げており、くらしの活動は「地域の活性化・協同活動の活発化」「結びつき強化・経営基盤の強化」に繋がる重要な取り組みとして位置付

けています。J A では、部門間連携を強めながら一体となつてくらしの活動に積極的に取り組み、地域の特色を生かした豊かで暮らしやすい地域社会の実現を図っています。

## 主役は組合員・地域住民

J A が取り組むくらしの活動は、大きく分けて「食と農を守る活動」「生活文化活動」「健康福祉活動」「相談活動」の4つがあります。これらの活動の中心にいるのが組合員・地域住民の皆様です。J A では、このような活動をサポートするため、全27支店がそれぞれ地域の歴史的伝統文化を尊重した「支店行動計画」を策定。各支店が拠点となり、地域に密着しながら組合員・地域住民の皆様とともにくらしの活動に取り組んでいます。

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現

## 組合員・地域住民の多様なニーズ

- 食と農を守る活動**
  - ◆ちゃぐりんスクール
  - ◆地産地消活動
  - ◆食育リーダー「花巻まんまーず」
  - ◆グリーン・ツーリズム
  - ◆農業学習体験
  - ◆市民農園 など
- 生活文化活動**
  - ◆家の光記事活用グループ
  - ◆支店協同活動
  - ◆子育て支援
  - ◆ふれあいプラン
  - ◆農業まつり
  - ◆地域貢献活動 など
- 健康福祉活動**
  - ◆人間ドック受診促進
  - ◆健康寿命100歳プロジェクト
  - ◆ウォーキング教室
  - ◆見守り活動
  - ◆認知症予防 など



## 相談活動

- ◆信用
- ◆生活
- ◆共済
- ◆介護福祉
- ◆営農
- ◆葬祭 など

J A いわて花巻くらしの活動

J A 事業

# くらしの活動大会

## ヒント溢れる大会

J A は12月1日、J A 総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で「くらしの活動大会」を開きました。組合員や役員など約5000人が参加。農事組合法人とたんの熊谷健一代表理事が講演したほか、2つの団体が活動実践発表を行いました。内容は、くらしの活動を展開していく上で参考となるヒントや活力で溢れ、参加者は仲間や地域と共に活動していく事の素晴らしさを実感しました。また、記念講演ではタレントの島田洋七さんがさまざまな笑い溢れる出来事を紹介。会場を笑いの渦に包みました。

## 共に歩む

J A は、組合員一人一人の課題を協同の力で解決していく組織です。J A は支店を拠点として活動を展開し、組合員・地域住民が抱えるさまざまな問題に向き合い、共に歩んで解決します。豊かな地域と農業を次世代に伝え残していくために繋がり大切にし、地域の明るい未来に向けて共にくらしの活動を展開していきましょう。

## 講演

# 地域コミュニティ維持のための農家組合組織のありかたについて

農事組合法人とたん 熊谷健一 代表理事

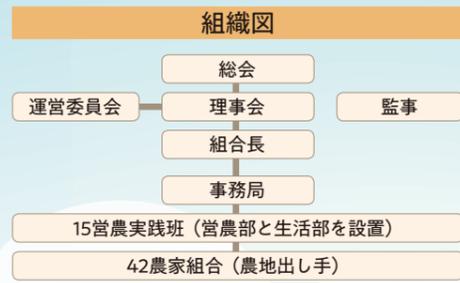


農事組合法人とたんは、平成25年3月に設立しました。盛岡市の都南地域を管内とし、組合員数約950人、経営面積約980haと、日本最大級の農事組合法人です。今回は、熊谷健一代表理事に講演いただいた内容の一部を紹介します。

私たちの法人には42農家組合があり、大字単位で15営農実践班を構成しています。農村は農業だけでなく食文化や郷土芸能の継承、食農教育も担っていると考え、各営農実践班に営農部と生活部を設置しています。

例えば、湯沢営農実践班の営農部では、水稲や野菜の栽培のほか、青空指導会の開催やライスセンターの管理・運営などを行っています。特に、約25年間続いているイベントが「勤労感謝の集い」です。約100人が参加し、縄ない・豆拾い競争などを子どもから大人までみんなが参加して班対抗で行うほか、小学生による図画・習字の展示や野菜観察発表を実施しています。このように幅広い年代が集い、全員が主人公となり楽しむ事が長くイベントが続いている秘訣だと思います。一方、生活部では、味噌を共同作業で作っているほか、子供会や育成会との交流、地元小学校での出前授業などを行っています。

このように、活発に事業を進めるためには地域にリーダーが必要だと思います。行動なくして成果なし。目標を立てて賛同する人を増やし、行動する人が「リーダー」です。現場の声を理解し、それを行動に切り替えていくのが本当のリーダーで、地域の元気に繋がると思います。ぜひ、明日に向かって行動を起こしてください。



## 活動実践発表



女性部北上地域支部フレッシュ部 高橋安希 部長

女性部とおのよつば地域支部 昆野裕子 支部長



(上)島田洋七さんの次々飛び出すエピソードに、会場は笑いの渦に包まれました  
(右)参加者を楽しませた島田洋七さん

